

参考資料 3

国際的動向を踏まえたオープン
サイエンスの推進に関する検討会
(第10回)
平成31年3月20日(水)

第9回 国際的動向を踏まえたオープンサイエンスの推進に関する検討会

議事概要(案)

1. 日 時：平成31年2月21日(木) 15:00~17:00

2. 場 所：中央合同庁舎4号館12階 1208会議室

3. 出席者：(敬称略)

引原(座長)、喜連川(副座長)、有川、家、小賀坂、川村、黒川、末吉、高木、
林、村山の各構成員、佐藤審議官、梅澤参事官、赤池参事官

4. 議事

(1) 事務局説明

国立研究開発法人におけるデータポリシー策定ガイドラインに関する解説資料、データリポジトリ整備・運用ガイドライン、および研究データ基盤整備と国際展開ワーキンググループについて説明があった。

(2) 主な意見交換等

(国立研究開発法人におけるデータポリシー策定ガイドライン解説資料について)

○法人内の部門・センター等でデータポリシーを策定する場合、法人が基本的・共通的な方針を示し、部門・センター等において、その法人の方針を踏まえつつ、分野特性や研究現場の状況を考慮して策定すべきである。

○研究データの公開、共有、非公開の判断についても、法人として基本的・共通的な方針を示すべきではあるが、分野特性も踏まえた判断も必要となってくるため、部門・センター等における判断が尊重されるべきである。

(データリポジトリ整備・運用ガイドラインについて)

○データポリシーの策定やデータリポジトリの整備・運用を含む、研究データの保存・管理については、まずは国研で実践し、大学や共同利用機関法人でも同様に取り組んでいくかは、各大学等において判断がなされるべきである。

○オープンサイエンスにおける研究データの保存・管理は、研究不正の観点による保存・管理とは分けて議論すべきであり、データリポジトリの整備・運用もデータの流通を促進するという観点から推進すべきである。

（「研究データ基盤整備と国際展ワーキンググループ」の設置について）

○ワーキンググループの構成員について、資料3のとおり承認された。今後、月1～2回の頻度で開催し、6月までに一定の取りまとめを行う予定。

5. その他

○次回は、3月20日に開催予定。